セキュアなEメールクラウドゲートウェイ：ロンドンからフランクフルトへのデータセンターの移行

内容

はじめに

このドキュメントでは、クラウド型Eメールセキュリティ(CES)でホストされるデバイスに関して、シスコがロンドンデータセンターの使用停止を実施した際のプロセスと影響について説明します。

説明

ロンドンからフランクフルトのデータセンターにサービスを移行するには、重要なインフラストラクチャ、アプリケーション、およびデータを2つの主要なヨーロッパのハブ間でシームレスに移行する必要があります。このプロセスでは、ビジネス運用の中断を最小限に抑え、ネットワークパフォーマンスを最適化し、データ常駐規制に準拠するための慎重な計画が必要です。サービスをフランクフルトに移転することで、組織は拡張性の向上、セキュリティ対策の強化、中央ヨーロッパの顧客へのアクセスを活用できます。移行には、遅延、帯域幅の最適化、サービスレベル契約(SLA)に対する潜在的な影響など、移行中および移行後も効率性と信頼性を維持するための主要な考慮事項も含まれます。

前提条件

- ロンドンのデータセンター内にあるCisco Secure Email Cloud Gatewayデバイス

ロンドンデータセンターにCisco Secure Email Cloud Gatewayデバイスはありますか。

これは、次のようなさまざまな方法で確認できます。

- GatewayおよびEmail & Web Managerダッシュボードへのログインに使用するURLにc3s2があります
  - 例： https://xxxxx.c3s2.iphmx.com
- mxレコードにc3s2があります
  - 例：mx1.xxxx.c3s2.iphmx.com
- デバイスのホスト名に「c3s2」が含まれている
  - 例： esax.xxxxx.c3s2.iphmx.com

顧客への影響

今後の移行がサービスに影響を与えたり、お客様の側で何らかのアクションが必要になることはありません。シスコのチームは、中断やデータ損失を予測することなく、プロセスをシームレスに進行させることに取り組んでいます。IPアドレスと既存の設定は変更されず、運用の継続性が維持されます。また、移行スケジュールと今後の更新に関する通知が送信されるため、常に通知を受け取ります。ご安心ください。シスコの優先事項は、この移行を可能な限りスムーズかつ目に見えないようにすることです。
注意：アムステルダムのセカンダリデータセンターは変更されず、変更は行われません。

移行日

開始	完了
2025年6月2日	2025年7月3日

FAQ

1. 移行による影響を受けるのは、ロンドンのデータセンターアプライアンスだけですか。
    1. a.はい。この移行の影響を受けるのは、ロンドンデータセンター内のアプライアンスだけです。
2. お客様には、割り当て移行に固有の日付と時間帯に関する通知が送信されますか。
    1. いいえ。移行は時間の経過とシームレスに行われます。影響は予想されません。
3. 移行後もアプライアンスは同じモデルですか。
    1. はい。モデルのタイプは変更されません。
4. MXレコードは変わりますか。SPFを再設定する必要がありますか。
    1. いいえ。MXレコードは変更されないため、SPFを再設定する必要はありません。
5. メールボックスへのVPNルートがありますが、移行後に影響がありますか。
    1. いいえ、VPNに影響はありません。

サポート

移行中または移行後に技術的な問題が発生した場合は、シスコカスタマーサポートに連絡して安全な電子メールを入手することをお勧めします。このメンテナンスまたは潜在的な影響に関する緊急のお問い合わせについては、Cisco TAC(https://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html)までご連絡ください。

関連情報

- Cisco Secure Email Cloud Gatewayエンドユーザガイド
- Cisco Secure Email Gatewayエンドユーザガイド

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。